

# 関西医療大学 保健看護学部 保健看護学科 カリキュラム・マトリクス

本学では、4年間の授業科目全体を「総合教育科目(一般教養を幅広く学ぶ科目)」と「専門教育科目(目指す医療資格を専門的に学ぶ科目)」に分けて、それぞれを「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」に基づいて体系的に配当したカリキュラムのもとで教育を行っています。

また、本学の各学部・学科では、本学が掲げる「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」に基づき、学生が卒業するまでの学びの過程で身につけることを求める8つのコンピテンシー(行動特性、能力)を定めています。学生は、1つ1つの授業科目を年次ごとに履修しながら対応するコンピテンシーの修得を積み重ねていきます。そして、社会の中で本学のディプロマ・ポリシーに相応しい人間性と学修成果を身につけた「社会に役立つ道に生きぬく」医療人として活躍することを目指します。

## 保健看護学科が学生に求める8つのコンピテンシー

① 人間力	幅広い教養と深い感性を身につけて行動することができる
② 倫理に基づく行動力	医療人として高い倫理観に価値を置いて行動することができる
③ コミュニケーション能力	様々な状況に応じて相手を尊重し対話することができる
④ 課題探求力	課題の本質に目を向け問題意識を持ち探求できる
⑤ 臨床判断能力	看護学の体系化された専門知識を使って臨床判断できる
⑥ 看護実践力	看護学の知識・技術を臨床で統合して看護を実践できる
⑦ 協働する力	看護専門職としての責務を自覚し他者と協力して問題解決できる
⑧ 自己研鑽力	主体的に学び看護の向上を目指すことができる

## 大学・学科のディプロマ・ポリシーとコンピテンシーの対応

大学・学科のディプロマ・ポリシー		8つのコンピテンシー							
		①人間力	②倫理に基づく行動力	③コミュニケーション能力	④課題探求力	⑤臨床判断能力	⑥看護実践力	⑦協働する力	⑧自己研鑽力
大学	1. 医療人として、豊かで深い教養と倫理観を身につけている	●	●						
	2. 保健医療の各分野で求められる専門的な知識をもち、医療技術を実践できる					●	●		
	3. 新たな課題を科学的・論理的に探究して解決できる知性を身につけている				●	●			
	4. チーム医療の一員として、自らの責任と役割を理解して行動できる			●				●	●
学科	1. 多様な人々とコミュニケーションを図り、人間関係を構築できる	●		●				●	
	2. 看護専門職に求められる知識と技術を身につけている				●	●	●		
	3. 科学的な思考に基づいた判断力と温かみのある看護を実践できる				●	●	●		●
	4. 看護専門職としての探究心と創造力を身につけている		●		●				●

## 保健看護学科のカリキュラム配当科目とコンピテンシーの対応

(※対応する上位2つのコンピテンシー番号を記載)

区分	1年次配当科目		2年次配当科目		3年次配当科目		4年次配当科目		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
総合教育科目	①③ 東洋医療の基礎・導入教育	①④ 物質と自然のしくみ	①③ 英語表現法Ⅲ	①③ 英語表現法Ⅳ	①③ 医療英語				
	①④ 科学の基礎	①④ 統計学の基礎							
	①④ 情報科学	①② 社会福祉論							
	①④ 生命のしくみ	①④ 社会学							
	①④ 生命の化学	①③ 生涯スポーツⅡ							
	①② 生命倫理	①③ 英語表現法Ⅱ							
	①④ 日本国憲法(法の基礎知識)	①③ 手話							
	①④ 心理学								
	①④ 教育学								
	①③ 生涯スポーツⅠ								
	①③ スポーツと健康								
	①③ 国語表現法								
	①③ 英語表現法Ⅰ								
	①③ コミュニケーション学								
	専門教育科目	④⑤ 人体の構造Ⅰ	④⑤ 人体の構造Ⅱ	④⑤ 看護にいかす疾病論Ⅰ	④⑤ 日常生活活動(ADL)	④⑤ 保健統計学演習	⑥⑦ 母性看護学実習	④⑧ 総合看護学演習	④⑧ 総合看護学演習
		④⑤ 人体の機能Ⅰ	④⑤ 人体の機能Ⅱ	④⑤ 看護にいかす疾病論Ⅱ	④⑤ 看護にいかす疾病論Ⅳ	⑤⑥ 臨床看護実践論	⑥⑦ 小児看護学実習	⑥⑧ 総合看護学実習	⑥⑧ 総合看護学実習
		④⑧ 看護学概論	④⑤ 生体名構成する物質とはたらき	④⑤ 看護にいかす疾病論Ⅲ	④⑤ 看護とくすり	⑤⑥ 母性看護方法論Ⅱ	⑥⑦ 成人看護学実習Ⅰ	②⑦ 老年看護学実習	②⑦ 災害・国際看護論
		③⑥ 基礎看護技術論Ⅰ	④⑤ 人間の発達	④⑤ 看護にいかす疾病論Ⅴ	⑤⑦ 保健・医療・福祉制度論	⑤⑥ 母性看護展開論	⑥⑦ 成人看護学実習Ⅱ	④⑦ 保健医療福祉政策論	⑦⑧ 公衆衛生看護管理論
			④⑤ 看護にいかす病因・病態学	④⑤ 食生活と健康	④⑤ 疫学	⑤⑥ 小児看護方法論Ⅱ	⑥⑦ 精神看護学実習	⑥⑦ 公衆衛生看護計画論	⑥⑦ 公衆衛生看護学実習
		④⑧ 看護活動と理論	③⑥ カウンセリング論	⑤⑥ 看護過程論	⑤⑥ 小児看護展開論	⑥⑦ 在宅看護学実習	⑤⑥ 学校保健論	④⑧ 公衆衛生看護学研究	
		⑤⑥ フジ カラアセスメントⅠ	④⑤ 公衆衛生学	⑤⑥ 基礎看護技術論Ⅲ	⑤⑥ 成人期の健康回復支援論	⑥⑦ 地域看護学実習	⑤⑥ 産業保健論	⑦⑧ 助産管理Ⅰ	
		⑤⑥ 基礎看護技術論Ⅱ	④⑤ 保健統計学	⑤⑥ 基礎看護学実習Ⅱ	⑤⑥ 成人看護実践論Ⅰ	④⑤ 助産学概論	⑥⑦ 公衆衛生看護学実習	⑦⑧ 助産管理Ⅱ	
		②③ 基礎看護学実習Ⅰ	⑤⑥ フジ カラアセスメントⅡ	⑤⑥ 母性看護方法論Ⅰ	⑤⑥ 成人看護実践論Ⅱ		④⑧ 公衆衛生看護学研究	⑥⑦ 助産学実習	
		④⑦ くらしと看護	④⑤ 女性の健康と看護	⑤⑥ 小児看護方法論Ⅰ	⑤⑥ 成人看護展開論		⑤⑥ 助産診断・技術Ⅰ	④⑧ 助産学研究	
		④⑤ 老年期の健康と看護	④⑤ 子どもの健康と看護	④⑤ 成人期の健康と看護	⑤⑥ 精神看護方法論Ⅱ		⑤⑥ 助産診断・技術Ⅱ	⑦⑧ チーム医療論	
			④⑤ 心の健康と看護	⑤⑥ 精神看護方法論Ⅰ	⑤⑥ 精神看護展開論		⑤⑥ 助産診断・技術Ⅲ	④⑧ 看護学研究	
			⑤⑥ 老年看護方法論Ⅰ	④⑥ 老年看護方法論Ⅰ	⑤⑥ 老年看護展開論		⑤⑥ 助産診断・技術Ⅳ		
			④⑤ 在宅療養と看護	③⑦ 地域ふれあい実習	⑤⑥ 在宅看護方法論Ⅱ		⑤⑥ 助産診断演習		
			④⑤ 公衆衛生看護学概論	⑤⑥ 在宅看護方法論Ⅰ	⑤⑥ 在宅看護展開論		⑤⑥ 助産技術演習		
			②⑦ 看護倫理学	⑤⑥ 健康教育論	⑦⑧ 看護マネジメント論		⑥⑦ 助産学実習		
				⑤⑥ ライフサイクルと保健活動	②⑦ リスクマネジメント論		④⑧ 助産学研究		
				⑤⑥ 家族看護論	④⑧ 研究方法論基礎		⑥⑧ 看護にいかす手技療法		
				⑥⑧ 看護にいかすツボ刺激	⑤⑥ 障害者と感染症の保健活動		⑦⑧ ケアマネジメント論		
					⑥⑧ 子育て支援論		④⑧ 看護学研究		
					⑤⑥ 公衆衛生看護支援論				
					⑥⑧ 看護にいかすアラモテラピー				